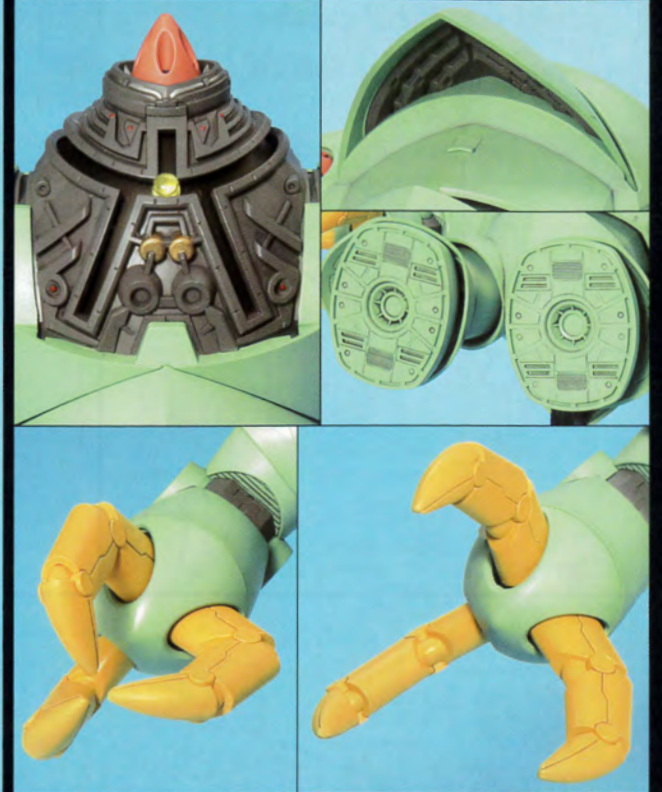


ACTION

アクションポーズ

DETAIL

各部ディテール



MSM-10 ZOCK

PRINCIPALITY OF ZEON PROTO-TYPE AMPHIBIOUS MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : MSM-10
 TOTAL HEIGHT : 23.9m
 WEIGHT : 167.6t
 TOTAL WEIGHT : 229.0t
 GENERATOR OUT PUT : 3849kw
 MATERIAL : SUPER HARD STEEL ALLOY
 ARMAMENTS : PHONON MASER CANNON
 MEGA PARTICLE BEAM GUN
 IRON NAIL



CRUISING MODE

巡航形態



※写真はバンダイプラモデル
 アクションベース1 (別売り)
 を使用しています。

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
 ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

●本体等： ホワイト(55%) +イエローグリーン(20%) +ニュートラルグレー(25%)	●アイアン・ネイル： ホワイト(50%) +イエロー(40%) +オレンジ(10%)	●メガ粒子砲等： ホワイト(60%) +モンザレッド(20%) +ブラウン(20%)	●内部メカ等： ニュートラルグレー(95%) +ブラック(5%)	●モノアイレール底面： ブラック(100%)	●モノアイ背面： シルバー(100%)
---	---	---	--	---------------------------	------------------------

1/144 SCALE
HG
 UNIVERSALCENTURY
 BANDAI 2007 MADE IN JAPAN

●写真の完成品は塗装してあります。

0150529



警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

●縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。



・線迹をするところ



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側と同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取る場所



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・縁部に合わせて回転させます



・どちらかを選んで取り付ける



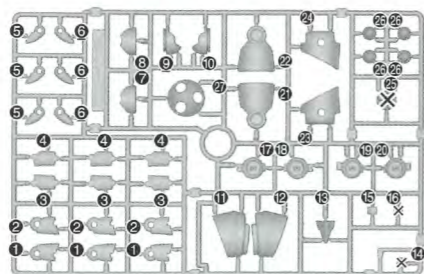
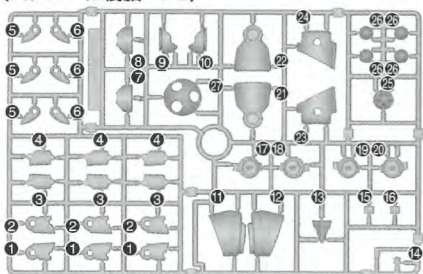
・反対側も同じように動かします

パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

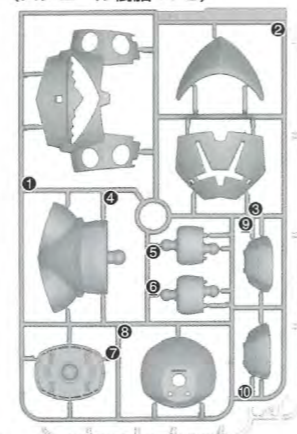
Aパーツ (×2)

(スチロール樹脂: PS)



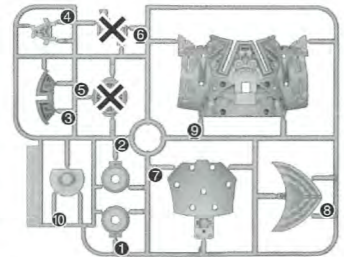
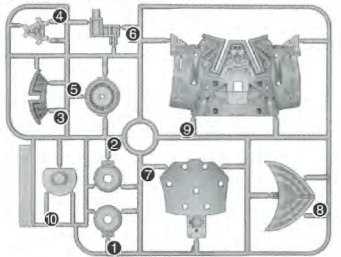
Bパーツ (×2)

(スチロール樹脂: PS)



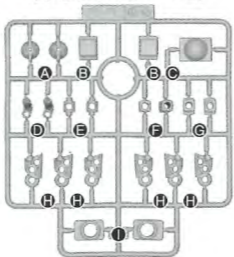
Cパーツ (×2)

(スチロール樹脂: PS)

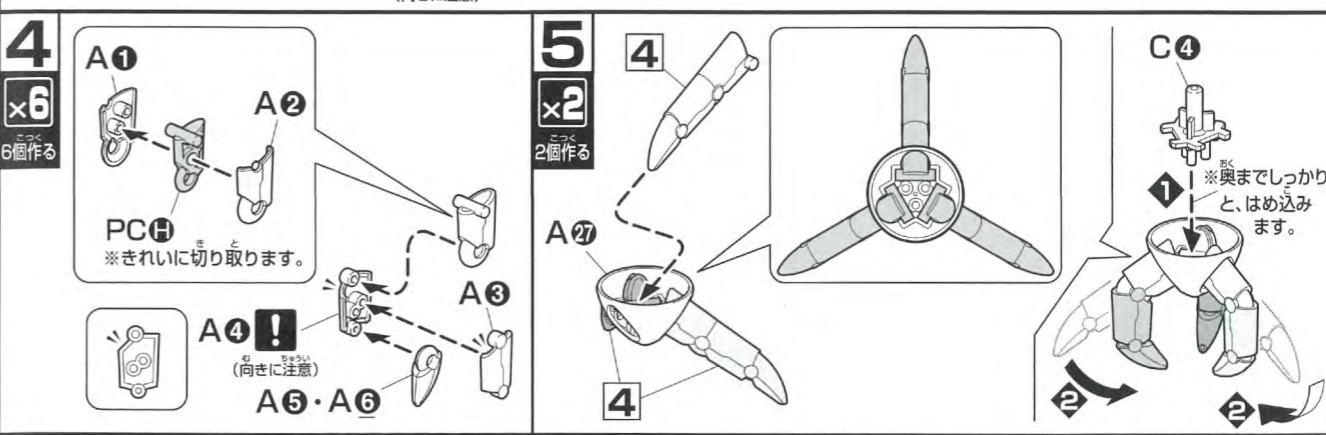
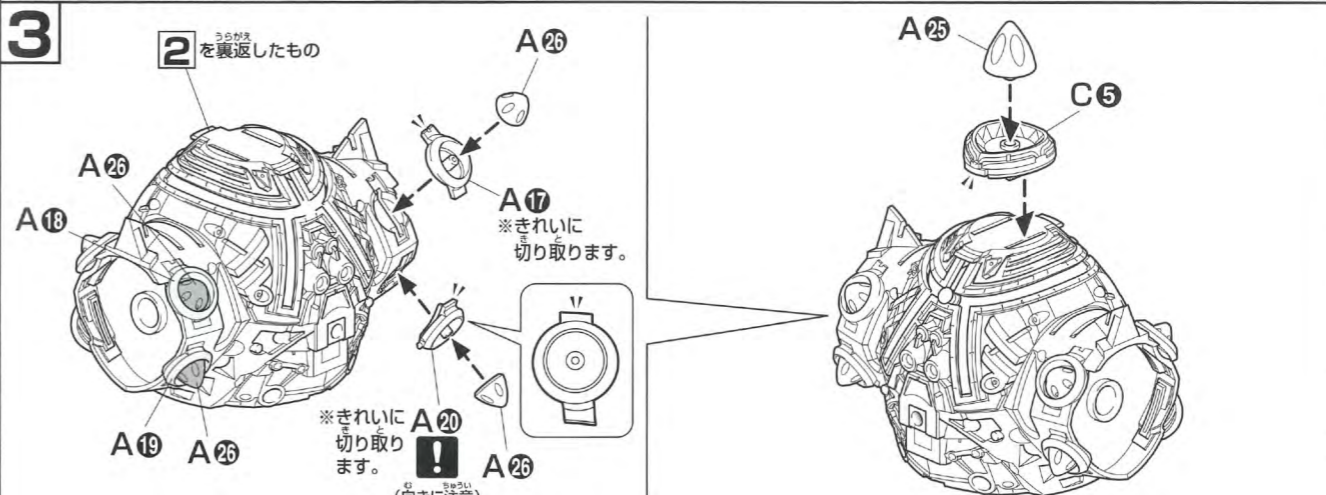
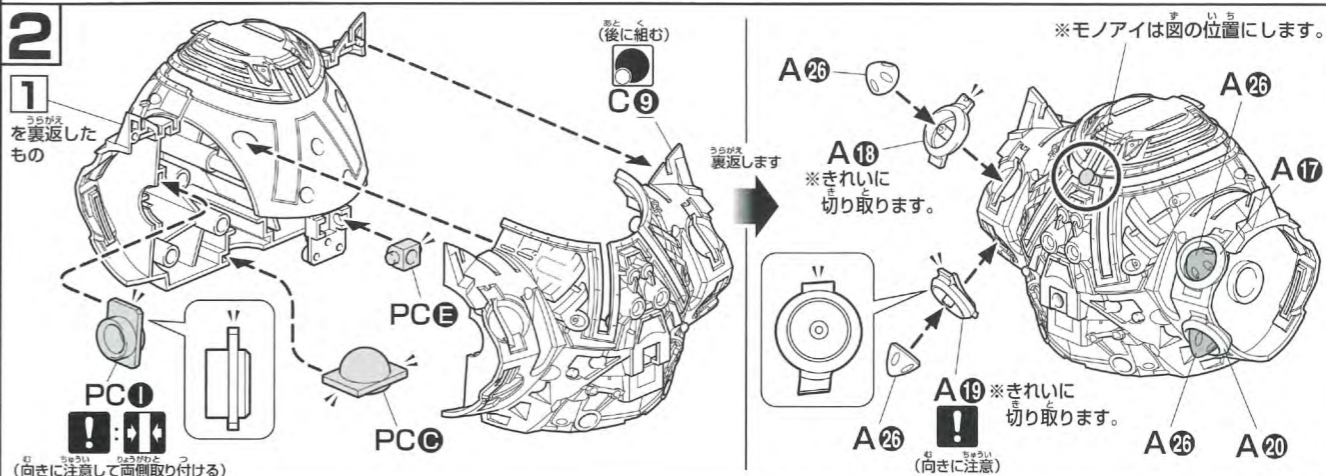
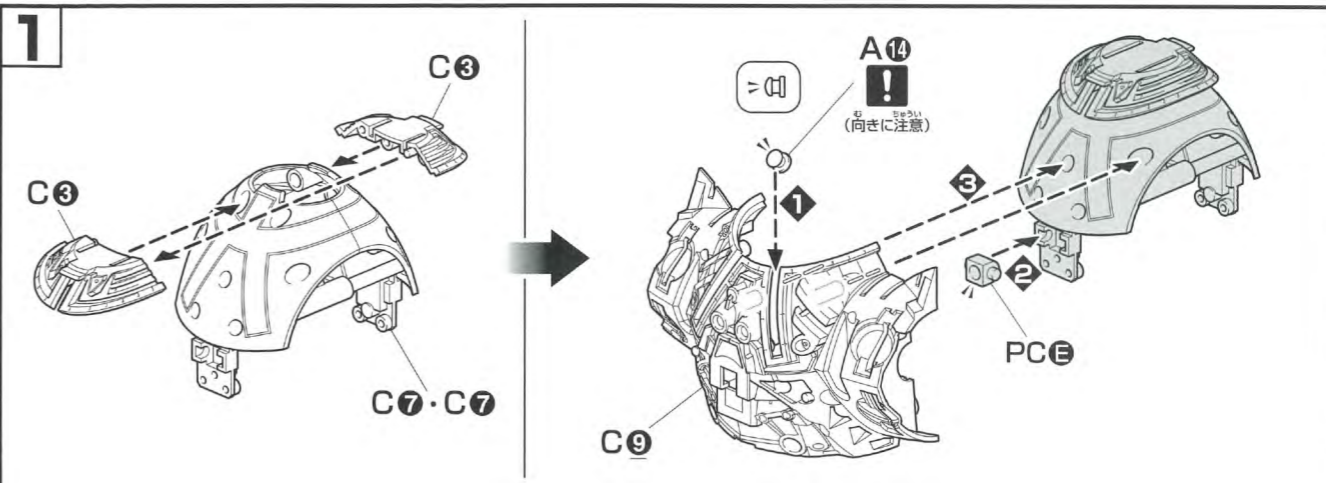


〈PC-131〉

(ポリエチレン: PE)



●モノアイシールド……2
(PET樹脂: PET)



MSM-10 ZOCK

MSM-10 ゾックは、ジオン公国軍が開発した水陸両用MSの中でも最も異様な形状を持っている。いわゆる手足に相当するユニットはあるものの、もはやMSと呼ぶのははかれるほど、全く異質な代物となっている。特に脚部には、機体をザクの数倍ジャンプさせる程の推力を持つ大型ロケットエンジンとホバーユニットが内蔵されており、構造的にもいわゆる“歩行”は不可能だとされている。当然のように陸上における運動性は劣悪で、180°転回が実用レベルに達しておらず、前後がほぼ同一の構造をしているのは、後方の敵機に対応するための苦肉の策と言われる程で、この機体を指して「見かけ倒しでなければいいが」あるいは「高地戦用移動メガ粒子砲だ」と誇る将兵もいたようだ。無論、ゾックがこのような形態を獲得するに至るには理由があり、その主たるものは、公国軍においてMA構想が確立してゆく過渡期に設計が進行したためだとされている。事実、水中航行能力に関しては、数ある水陸両用機の中でも唯一の整流効果を誇っている。加えて、メガ粒子砲の搭載数も最多であり、機体の前面と後面に4門づつと頭部に1門の計9門のメガ粒子砲を搭載している。のみならず、反応炉がザク4機分の出力を持っているため、連邦製のビーム・ライフル並に連射する事ができ、その火力は単純計算で当時の公国製MS一個中隊分と同等であったとさえ言われている。本機の生産計画は、MSとしてはなく、小型MAとして考えられていた節があり、グラブと同様、キャリフォルニア・ベースの



アイアン・ネイル
3本のクローで敵に斬撃/打突を加えるほか、簡易マニピュレーターとしても機能する。実際には砲を使用する際のアンカーとしても考えられていたようだ。

メガ粒子砲
ジェネレーター直結型のメガ粒子砲。エネルギーCAPシステム並の連射が可能。

SPEC

型式番号：MSM-10
頭頂高：23.9m
本体重量：167.6t
全備重量：229.0t
ジェネレーター出力：3849kw
装甲材質：超硬スチール合金
武装：フォノンメーザー砲
メガ粒子砲
アイアン・ネイル

フォノンメーザー砲

公国軍による呼称通りなら「音響量子（振動を量子化したボース粒子）を増幅して誘導放出する兵器」だが、実際にはメガ粒子砲であり、周囲のスリットは水流ジェット用のインタークであった。ちなみに「メーザー=MASER」のみで、光の代わりにマイクロ波を使用したレーザー同様の機器および効果などを意味する。

モノアイ

レールに沿って光学端末を高速で移動させる主要撮像装置。移動速度は公国製MSの中でもトップクラス。

フェアリングシェル

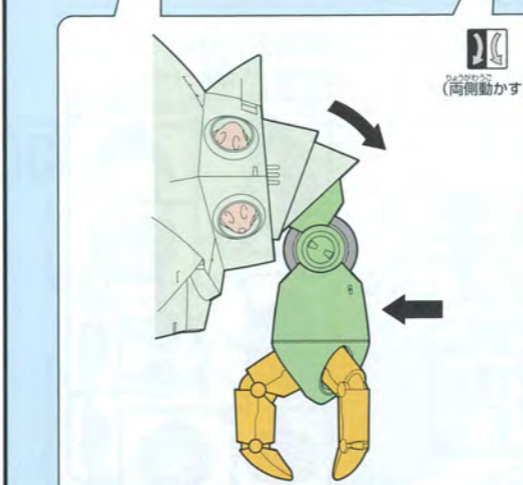
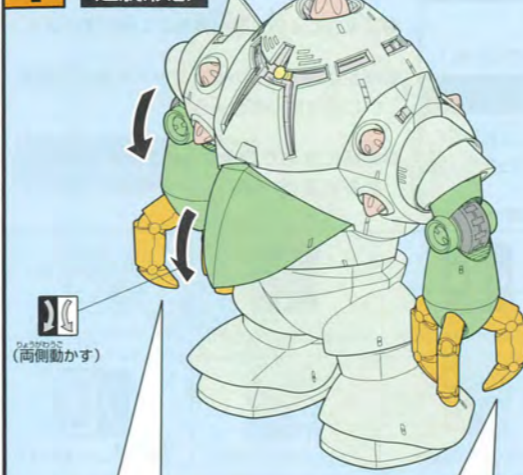
公国軍の将兵からは「クチバシ」と呼ばれる整流殻。速度や機動に応じて展開角度を変え、機体周辺の抵抗や流体特性を調整している。

脚部ホバー

陸上における移動のため、地表から数十センチほど浮上可能なホバー機構が装備されている。歩行脚としてはほとんど機能しないが、緊急時にはロケットを使用してザク以上のジャンプが可能。



巡航形態



※バンダイプラモデルアクションベース1（別売り）を使用してディスプレイできます。

ジャブローの戦場を再現せよ!!

ジャブロー基地を襲ったジオン軍MSと迎撃に出た連邦軍MS



- No.008 「ゴッグ」HG**
- No.078 「アッグイ」HG**
- No.019 「シャア専用ズゴック」HG**
- No.020 「ジム」HG**
- No.021 「ガンダム」HG**

ゴッグは、MSMというカテゴリーにおいて第1期水陸両用MSとして開発され、ビーム兵器の搭載により、投入当初からその性能を遺憾なく発揮した。アッグイは水中航行時には2基あるジェネレーターのうち1基のみでも稼働できたため、熱センサーに感知されにくいという特性を持っていた。ゴッグなどの実働データをもとに開発された機体で、中でもSタイプは、ジェネレーターの高出力化や運動性の改善、装甲の強化などが計られている。RX-78の基本構造に基づいて再設計され、ジャブローにおける第一次生産機として、地上用の機体が42機生産、初期の部隊編成に使用された。「V作戦」において検討されたMSに求める素案を、可能な限り盛り込んだ結果、脅威的なスペックを持つに至った連邦軍初の実戦型の試作MS。

MSM-10 ゾック

MSM-10 ゾックは、TVシリーズ「機動戦士ガンダム」および劇場用作品「機動戦士ガンダムII 哀・戦士編」などに登場する水陸両用MSである。U.C.0079年11月下旬、連邦軍の本拠地ジャブローへの襲撃を計画するジオン公国軍は、先発隊として水陸両用MSを中心とする特務部隊を編成し、ホワイトベース=木古が消えたポイントを基点にジャブローへの侵入路を捜索していた。「見つけたぞ、ジャブローの入り口だ。この金属反応がなげりゃ見過ごしていたところだ」。ゾックを駆るボラスキニフは、連邦軍の反撃が無事を確認し、指揮官のシャアへと報告を送る。しばらくの後、赤いズゴックと二機のゴッグが接触してきた。「ボラスキニフ、首尾はどうなのだ?」「はっ、爆薬を仕掛けたところがあります。突入しますか?」少し離れたところにも侵入路がある事を聞いたシャアは、二機のゴッグをその場に押し、さらに上流にあるもうひとつの入り口から、本隊の襲撃に乗りて基地内へ潜入する両面作戦を敢行する。一方、ジオン公国軍襲来の報を受けたホワイトベース整備班のウッディ大尉は、許嫁であるマチルダの遺志を継ぐべく、ホワイトベースを守るためホバー機ファンファンで特務部隊の迎撃に向かう。「ジオンめ、ジャブローから出て行け!」「ウッディ大尉、無理です!」アムロの制止を振り切って、ウッディはズゴックにミサイルを放つ。「冗談ではない!!」シャアは無造作に貧弱なホバー機をたたき落とす。しかしウッディの放ったミサイルはズゴックに一矢報いていた。「メインカメラをやられたか。ええいっ、ボラスキニフ、聞こえるか? 援護を頼む」追いつくがガンダムの前にゾックが立ちちはだかる。「邪魔をするな、シャアを討たせろっ!!」「うおっ……!!」ジャブローの地下坑道にボラスキニフの雄叫びが響き渡る……!!



●写真はいメージです。